

<p>5 調査項目</p>	<p>(1) 動物にやさしい秋田推進事業について 秋田県では、「動物にやさしい秋田」を実現するため、県民の意識啓発等を行うとともに、犬猫の適正譲渡や地域猫対策を実施するなど、積極的に動物愛護を推進している。また、秋田県動物愛護センター「ワンニャピアあきた」が新たに整備され、6月から一般に開放された。そこで、動物愛護の取組を推進するに当たっての課題及び、動物愛護センターの運営状況を調査することにより、本県の動物愛護推進の取組の参考とする。</p> <p>(2) 公立大学法人 国際教養大学 公立大学法人 国際教養大学ではグローバル社会のリーダーとなる人材を育成することを使命としており、徹底した英語教育などを行っている。また、秋田県の英語教員に対し指導力向上の支援をするなど、秋田県のグローバル人材育成の取組にも貢献しており、同大学の教育プログラムや地域貢献の取組を調査することにより、本県での今後のグローバル人材の育成推進の参考とする。</p> <p>(3) 秋田県立美術館 秋田県立美術館では、教育普及事業を推進し、県民が身近に芸術を楽しむ文化を育むことにより、秋田の街、人、文化の創造と共生を目指している。そこで、教育普及事業を調査することにより、本県の県立近代美術館における教育普及事業の取組及び生涯にわたる学びの機会の充実の取組の参考とする。</p> <p>(4) 秋田県立図書館 秋田県は、平成22年に都道府県で初めて「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」を制定するなど、読書活動を積極的に推進している中、県立図書館内に「秋田県子ども読書支援センター」を設置し、子どもの読書活動の支援を積極的に取り組んでいる。当センターの活動内容を調査することにより、本県の子どもの読書活動推進の取組の参考とする。</p>										
<p>6 経費の概算額</p>	<table border="0"> <tr> <td>一人当たりの議員経費</td> <td>97,070円</td> </tr> <tr> <td> 内訳 交通費</td> <td>63,710円</td> </tr> <tr> <td> 宿泊費</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td> 日当</td> <td>360円</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>97,070円</td> </tr> </table>	一人当たりの議員経費	97,070円	内訳 交通費	63,710円	宿泊費	33,000円	日当	360円	合計	97,070円
一人当たりの議員経費	97,070円										
内訳 交通費	63,710円										
宿泊費	33,000円										
日当	360円										
合計	97,070円										

*日程表を添付する。

(様式2)

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	8/20 (火)	秋田県	午前 午後	航空機 公共交通 機関等	(羽田空港→秋田空港) ●視察1「秋田県庁」 ・「動物にやさしい秋田推進事業」について ・公立大学法人 国際教養大学の設立経緯・取組につい て
2	8/21 (水)	秋田県	午前 午後	公共交通 機関等 公共交通 機関等	●視察2「秋田県立動物愛護センター」 ・施設の運営状況について ●視察3「公立大学法人 国際教養大学」 ・グローバル人材育成の取組について ・地域貢献の取組について
3	8/22 (木)	秋田県	午前 午後 午後	公共交通 機関等 公共交通 機関等 航空機	●視察4「秋田県立美術館」 ・教育普及事業について ●視察5「秋田県立図書館」 ・秋田県子ども読書支援センターについて ・子どもの読書活動の推進について (秋田空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 相原 高広 (団 員) 楠 梨恵子、池田 東一郎、 さとう 知一、松長 泰幸
---------	---

1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
①調査経費	議員1人当たり 100万円以内	議員1人当たりの経費は 97,070円であり、基準を満たして いる。	適
②調査箇所	1日につき午前 及び午後それぞ れ1箇所以上調 査実施移動日は 1箇所以上調査 実施	移動日について1箇所以上、それ 以外の日について、午前及び午後そ れぞれ1箇所以上調査を実施する行 程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
①調査の実施が 県政課題解決の 一助となるか。	<p>(1) 動物にやさしい秋田推進事業について 本県では、「神奈川県動物愛護管理行動計画」を新たに策定し、動物を「処分するための」施設から「生かすための」施設へと機能転換した動物愛護センターを本年6月に開所し、動物愛護の普及啓発を積極的に展開し、災害時の動物救護対策を行うなど、総合的な動物愛護管理施策を展開している。動物管理センターの機能を引き継いだ動物愛護センターを本年4月に開所し、積極的に動物愛護管理の取組を推進する秋田県の現状と課題を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(2) 公立大学法人 国際教養大学 本県では、外国語教育の充実や県立高校の国際バカロレア認定を目指すなど、グローバル人材の育成に力を入れているが、秋田県でも世界で活躍できるグローバル人材の育成を重点施策に位置付けている。秋田県内には、グローバル社会のリーダーとなる人材の育成を使命としている公立大学法人</p>

	<p>国際教養大学があり、英語教員の指導力向上や、児童生徒の英語力向上の支援を行っている。国際教養大学の教育プログラムや地域への貢献に係る取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(3) 秋田県立美術館 本県の県立近代美術館では、教育普及事業を展開しているが、人生100歳時代を迎える中、県民の豊かな学びを支える生涯学習環境の充実が求められ、県立社会教育施設における生涯学習機能をより一層充実させる必要がある。そこで、教育普及事業を積極的に推進している秋田県立美術館を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p> <p>(4) 秋田県立図書館 本県では、本年3月に「～かながわ読書のススメ～第四次神奈川県子ども読書活動推進計画」を策定し、新たに「子供の読書への関心・向上」に積極的に取り組むこととなった。本県の県立図書館では、「子ども読書活動推進フォーラム」の開催など、子ども読書活動の普及・啓発を目的とした事業を展開しているが、今まで以上に子供の読書への関心・向上を進める事業を展開することが望まれており、子どもの読書推進に積極的な秋田県立図書館に設置されている「秋田県子ども読書支援センター」を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p>
<p>②調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。</p>
<p>③現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>それぞれの分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容やその成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>